

補助事業実績報告書（記載例）

令和 年 月 日

中標津町長 様

個人営業者は、自宅の住所を記載してください。

補助事業者 住所

氏名

印

事業名 経営持続化応援補助事業

令和 年 月 日付、中標津町指令第 号をもって補助金の交付の決定を受けた上記事業について、中標津町補助金交付規程の各の規定により、次のとおり報告します。

交付申請書提出済の方は、公布された補助指令書の内容を記載してください。

申請・実績同時提出の場合は空欄のままで結構です。

記

1 補助事業の成果

国が提唱する「新しい生活様式」の実践に向け、新型コロナウイルス感染症の感染防止や感染へのリスク管理に係る取り組みを行うことで、コロナ禍及びコロナ収束後に向けた経営の持続化が図られた。

2 補助事業の経費の精算額 130,120 円 ※税抜き額による申請になります

3 補助金交付決定額 97,000 円

交付申請額と交付決定額に相違が出る場合、実績報告の前段に変更申請が必要です。

4 補助事業の着手及び完了年月日

着手 令和 2 年 4 月 10 日

完了 令和 2 年 8 月 7 日

5 添付書類

- (1) 事業実績書
- (2) 事業精算書
- (3) 補助金交付精算額調書
- (4) その他町長が必要と認める書類

事業実績書（記載例）

事業名	経営持続化応援補助事業
補助事業の実施内容	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 空気清浄機を1台購入</li><li>・ 飛沫感染防止パネルを4基購入</li><li>・ 不織布マスクを200枚購入</li><li>・ 簡易的な工作物（飛沫感染防止パネル）を3基作成し設置</li><li>・ PCR検査キットを5個購入</li><li>・ キャッシュレス決済の導入のため、決済端末1台とインターネット回線の引込み工事を実施</li></ul>
補助事業実施による効果	国が提唱する「新しい生活様式」の実践に向け、新型コロナウイルス感染症の感染防止や感染へのリスク管理に係る取り組みを行うことで、コロナ禍及びコロナ収束後に向けた経営の持続化が図られた。
その他特記事項	



別記第6号様式（第9条関係）

補助金交付精算額算出調書（記載例）

（単位： 円）

区 分	補助事業に要する経費			補助対象 経 費 B	補助事業に関 し生ずる寄付 金その他の収 入 C	補 助 基 本 額 (B - C) D	補助率 E	補助金交付 精 算 額 (D × E) F	備 考
	単 価	数 量	金 額 A						
事業費一式			130,120	130,120	0	130,120	3/4	97,000	
合 計			130,120	130,120	0	130,120		97,000	

- 注 1 「補助事業に要する経費」欄には、当該補助事業等に係る経費の総額を記載する。
- 2 「補助対象経費」欄には、当該補助事業に要する経費のうち、補助対象外経費（その団体等の運営に関する経費、食糧費的経費、慶弔費的経費、予備的な経費）を除き、補助の対象となる部分に限る経費の額を記載する。
- 3 「補助事業に関し生ずる寄付金その他の収入」欄には、他団体からの補助金、助成金、当該事業からの収入等を記載する。
- 4 「補助基本額」欄には、「補助対象経費」から「補助事業に関し生ずる寄付金その他の収入」を除し、当該補助金の算出の基礎となるべき額を記載する。
- 5 定額補助の場合は、「補助率」欄を斜線でまっ消する。

# 請 求 書

令和 年 月 日

中標津町長 西 村 穰 様

住 所

氏 名

印

令和 3 年度 経営持続化応援補助金として、下記のとおり請求します。

記

1. 補助金請求額

97,000 円

2. 補助金振込先

補助金請求額の訂正は訂正印があっても認められないため、記載を誤った場合は請求書を正しい金額で出し直してください。

銀 行 名	〇〇信用金庫	▲▲支店
口 座 名	××商事 代表 ●●●●	
口 座 番 号	◇◇◇◇◇◇◇◇	

+通帳の写し（表紙をめくった部分）を添付してください